



1 学期終業式 いよいよ夏休み

7月21日、1学期の終業式。

1学期は1年生と6年生は73日、2～5年生は72日間でした。この2年間は、次のような言葉で締めくくることが多くなっています。

「新型コロナの感染者がいなくてよかった。」

今学期も感染者がでることはなく、無事終了しました。各ご家庭で日頃から感染対策を取っていただいた結果だと感謝しております。

さて、終業式ではどんな話をしようかと数日間考え、次のような話をすることにしました。

まずは1学期の振り返りとして。

①あいさつのことでほめられたこと。

登校の時や下校の時、元気にあいさつをしてくれてうれしいと、地域の方（民生委員さん）から言われ、褒められた。交差点や横断歩道などで止まってくれた車の人にも挨拶をしていた。

②健康に気を付けて生活していた。

授業日（73日または72日）すべて出席した人が、192人中120人。休んだけれど病気が怪我ではなかった人を入れると、128人（約67%）もの人が元気に学校に来ていました。コロナに限らず、いろいろな感染症が発生している中で、立派な数だと思います。

③読書をする子が多くてよかった。

各学年の上位3名を発表します。図書貸し出し冊数の上位3名となりますが、「活字離れ」といわれるこの時代に、多くの本を読むということはとても良いことだと思います。

次に、夏休みの過ごし方として

①オリンピックがあるので、スポーツのと同じくらい、参加している選手の国について興味を持ってほしい。200以上の国と地域について、関心を持ってもらいたい。

②赤い車（消防車）、白い車（救急車）、白と黒の車（パトカー）のお世話にならないように、夏休みを楽しく過ごしてほしいということ。

今回の終業式では、甲斐警察署の方が、交通安全ついでの話をしてくれます。どんな話だったか、お子さんからお聞きください。

8月26日に、ひと回り成長した「きたっ子」が元気にそろそろことを願っています。

* * * * *

オリンピックに関する報道が増えてきました。競技も始まります。そこで・・・

せっかくオリンピックがあるだから

を片手に

見てみろし！



TBS系のグルメ番組のフレーズですが、にどんな言葉を入れることを考えていると思いますか。

今回の東京オリンピック、参加は206（予定）の国と地域です。7月12日にサッカーのオリンピックチームがキリンチャレンジカップで対戦した相手は、『ホンジュラス』という国でした。

ホンジュラスは一体どこにある国で、首都はどこで、言語は何でしょうか。3点セットで答えられる人はそうはいないと思います。まして、今回参加する国や地域についてはその多くが「どこ?」「だいたいあのへん」くらいの認識ではないでしょうか。

ちょうど夏休み中ということもあり、テレビ観戦をするご

家庭も多いと思います。だったら、日本選手や外国の有名な選手のプレーを見るのも楽しみだと思えますが、せっかくですから、『世界地図』を片手に観戦しませんか。さらに、スマホやPCなどを併用して、外務省のHPや、東京都の『オリンピックパラリンピック教育』のサイトなどで様々な情報に触れながら、間接的な国際交流の時間にしなければもったいないような気がします。

ということで、「**せっかくオリンピックがあるだから、「世界地図（スマホ）」を片手に見てみよう!**」と思っています。

※「国と地域」という表現については、5・6年生には説明してあげてほしいですね。例えば、台湾（中華民国、オリンピックではチャイニーズ・タイペイとして出場）は、「国」ではなく「地域」のほうに含まれます。

国名：ホンジュラス共和国

首都：テグシガルパ

言語：スペイン語

日本へ輸出：コーヒー、衣類、エビ等

面積：日本の約1/3

人口：959万人



今年の夏休みは35日間

◇昨年は、終業式に「達人」になることの勧めをしました。夏休み明けに、何人かが、達人になった報告をしてくれました。短かった昨年の夏休みでも、何人かの「達人」が誕生しました。

普段できないことに挑戦できるチャンスです。各学級の課題もあると思いますが、それにしても結構な時間を生み出すことが可能なはず。こんな時だからこそできる何かに挑戦してほしいと思っています。（「ゲームの達人」とかいうのは勧めません!）何か、素敵な達人の報告があるとうれしいです。

過去に出会った『達人』たち

- ・キャベツの千切り達人、
- ・中央線の駅の達人、
- ・カードマジックの達人、
- ・縄跳びの達人、
- ・百人一首の達人、
- ・座布団回しの達人、
- ・けん玉の達人、
- ・・・

◇家にいる時間が長いからこそ、家の仕事を任せてみるのもいいのではないのでしょうか。私の場合は、夏休みはブドウ（デラウエア種）の出荷が忙しかったので、出荷の手伝いと食事の準備を任されていました。そのお陰か、教師になってから、家庭科の指導には困りませんでした。将来役に立つかどうかということもありますが、今、家族の役に立っているという実感が大切なのだと思います。



母親の会・
保延さんによる生け花